

■ 編 集 委 員

池淵 研二* (委員長)

赤塚 俊隆* 伊崎 誠一* 小山 勇* 仁科 正実 町田 早苗 松下 祥* 御手洗哲也*
渡辺 修一* Chad L Godfrey (*Associate Editor 兼任, 五十音順)

■ Associate Editor

池田 正明 太田 敏男 永井 正規 萩原 弘一 (五十音順)

■ 編 集 後 記

編集後記を梅が一部開花している2月上旬に書いている。まだ梅の香がプンプンするというより、寒い日が数日続く合間に少し暖かめの陽気の日が挟まっているような時期である。

今回発刊の号には初めての試みとして研究室紹介を掲載させていただいた。これを蓄積することで埼玉医大内の研究室の特徴や目標としているテーマや業績をキャンパス内外の読者が知ることができるになればと期待している。ただ毎号掲載できる数には制限があるため、今後は医学研究センターの活動に相乗りさせていただき、研究室紹介記事をそのままセンターホームページに転載し、ニリユールも自主的にお願いしていくように企画を発展させていきたいと願っている。

学内グラント受賞者成果発表会を2月と7月の定期開催にしていく試みも進められており、従来は年に1回ごそっと束にまとまって雑誌に成果発表していただいていた業績が、そのままリアルに講演の形でキャンパス内でも発表してもらえるようになりつつある。第1回目の会には大学院生8名に参加していただけた。第2回の会には事前に医学部学生と医療学部学生にも掲示板を介して紹介したので、学生参加も実現する可能性がある。学生時代から先輩たちがどのような研究を工夫しながら達成しているかを目撃していただけることが狙いである。埼玉医科大学雑誌と研究センターの活動をタイアップさせ充実させていきたい。

また新しい企画としてフレッシュな話題をトピックスとして掲載する試みもスタートさせた。今回は国際医療センターで第1例目の脳死心臓移植が行われたので全経過の紹介、先端医療開発センターが研究活動を底上げしている活発な活動実績、そして私の所属する大学病院中央検査部で昨年なぜか寄生虫(条虫)検査数が多くなっていたためその背景を探るテーマ、これらを掲載することもできた。トピックス企画は継続する予定である。楽しみにして待っていて下さい。

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第 37 巻 第 2 号

編集責任者 池淵 研二

平成 23 年 3 月 15 日 印刷

平成 23 年 3 月 31 日 発行

発行所 埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049(276)2102(直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制 作 株式会社アテネデザイン

東京都港区三田 1-11-19 小宮ビル 2 階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>